

さくらんぼ広場レター

県北保健福祉事務所では、小さく生まれた赤ちゃん和妈妈への支援を行っています。その支援の1つとして、「さくらんぼ広場」という小さく生まれた赤ちゃん和妈妈の相談・交流会を行っています。

今年度は、10月4日でさくらんぼ広場は終了しましたが、医大NICUの郷先生とNクラブの先輩ママ2人を迎え、とても参考になるお話を聞くことができました。

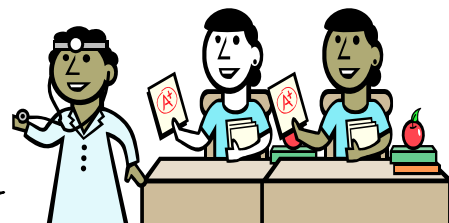
このさくらんぼ広場レターを育児の参考にして頂ければ幸いです。何か心配なことがあればいつでもお気軽に御連絡ください。

＜小さく生まれた赤ちゃんたちの育児のポイント＞

※一般的な相談と、さくらんぼ広場での回答を掲載しました。少しでも不安な時は実施せず、右記まで御連絡ください！



発達を促すために重要なことは？

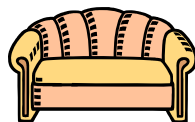


できるだけ沢山話しかけましょう！動作の連結ができるように働きかけましょう！

＜具体的な練習＞

① おすわりの練習

一人で座らせると前のめりになる時は…うきわを活用！
後ろに倒れちゃう時は…ソファなどの背もたれを活用！
その他…ママの太ももに赤ちゃんの足を入れてだっこするなど、腰を支えてあげましょう。



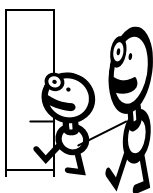
② つかまり立ちの練習

テーブルにおもちゃを置かなく、「立っていたい！」と思わせる工夫をしましょう。その他、足底をしっかり床につけたり、骨盤をやや下に押さえつけるように支えることも効果的です。



③ ひとり立ちの練習

壁に背中をつけて立たせたり、壁に手をつけて腰を支えてあげましょう。



片側しか寝返りをしません。

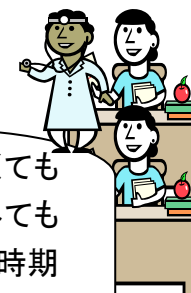
片側だけでも問題ないですが、骨盤を支えて反対側もできるように手伝ってあげてもよいですね。



体重が増えません。食が細いんです。



好きなものを中心に食べられるものを、食べられるときに…焦らなくても大丈夫！場所を変えたり友達と食べたりするなど、雰囲気を変えてみてもよいでしょう。体重は風邪をひくとかなり減ることがあります。横ばいの時期があっても、後で追いつくこともあります。あまり増えなくても元気があれば問題ないですよ。成長曲線の傾きが重要なので参考にしてみてください。



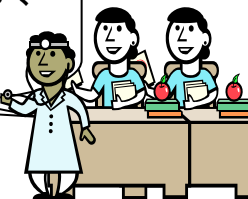
保育所入園を希望していますが、心配です。

生まれた時の状況や現在治療が必要な病気があるかなどで違うので、主治医に相談しましょう。風邪など感染を受ける機会は増えてしまいますが、子ども同士の関わりがもてるメリットもあります。



予防接種は修正月齢で受けた方がよいのでしょうか？

予防接種は月齢で受けても大丈夫ですが、主治医に相談してください。



*****＜子育て支援情報＞*****

福島県子ども救急電話相談

そんな時は #8000へ

夜、こどもが急に熱を出してしまった！近くに相談できる人がいない。どうしよう (>_<)

(または 024-521-3790)

医師や看護師などが家庭での対処法などについてアドバイスしてくれます。

受付時間 毎日 午後7時～翌朝8時

詳しくは、福島県保健福祉部健康衛生領域医療看護グループ TEL 024-521-7221にお問い合わせ下さい。

育児ボランティア すけっとくらぶ

低体重児で生まれたお子さん、双子ちゃん、三つ子ちゃん、療育を必要とするお子さん等の育児のお手伝いや保育、健診時の付き添いなどをするボランティア団体です。

詳しくは TEL 080-5577-2598 (梅津様方) までお問い合わせ下さい。

疑問や不安なことがあればお気軽に御連絡ください(*^_^*)

お問い合わせは 県北保健福祉事務所 児童家庭支援チーム

〒960-8012 福島市御山町8番30号 でんわ 024-534-4155

相談受付時間 平日8:30～17:30 担当保健師 まで